

ふくいの中心から発進する 新しい参加型まちづくり

福井市・福井ケーブルテレビ株式会社

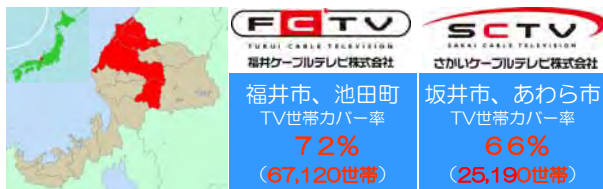


まちづくりに果たしてきたケーブルテレビの役割

福井の地域に密着したラストワンマイルまでの基盤を保有している
お客様のご家庭と1対1で繋がっている

便利・快適

ICT基盤整備 (TV・インターネット・電話)



地域情報の拠点 (情報発信源)

- 行政チャンネル
- ふくい散策 (名所旧跡)
- 福井新聞おもしろ情報刊
- エリアニュース
- ライブカメラ

など



地域住民との繋がり

コミュニティ

- ケーブルTVフェスタ (2万5,000人の来場)
 - お客様センター (多岐に渡る質問や相談)
 - 買物弱者対策 (福井県県民生協タイアップ)
 - 公民館との情報提供の繋がり
- など



災害時の適確な情報発信

安心・安全

- 福井市との災害緊急放送に関する相互協定
- 福井県との災害時における放送要請に関する協定
- 国土交通省との災害状況告知放送訓練
- ホームページの災害時緊急画面切替

平成16年7月
福井豪雨



やりたいこと = ICTを活用した協働のまちづくり

クリエイター／情報人

創

情報発信 **Pachon!!**

行きたい！！
食べたい！！
触りたい！！

福井ケーブルテレビ

ICT

インフラ整備
メッシュWi-Fi
+
メディアHUB

福井市

理念

都市計画



01 理念

福井市の現状と街づくり計画

ドーナツ化現象
中心市街地の弱体化

第六次 福井市総合計画
「福井市都市計画マスタープラン」
「福井市情報化ビジョン」
「福井市中心市街地活性化基本計画事業」

中心市街地の世帯数の推移と対市シェア



STEP 01

福井市に

行

きたくなる。

STEP 02

福井市内を

動

き回りたくなる。

STEP 03

福井市に

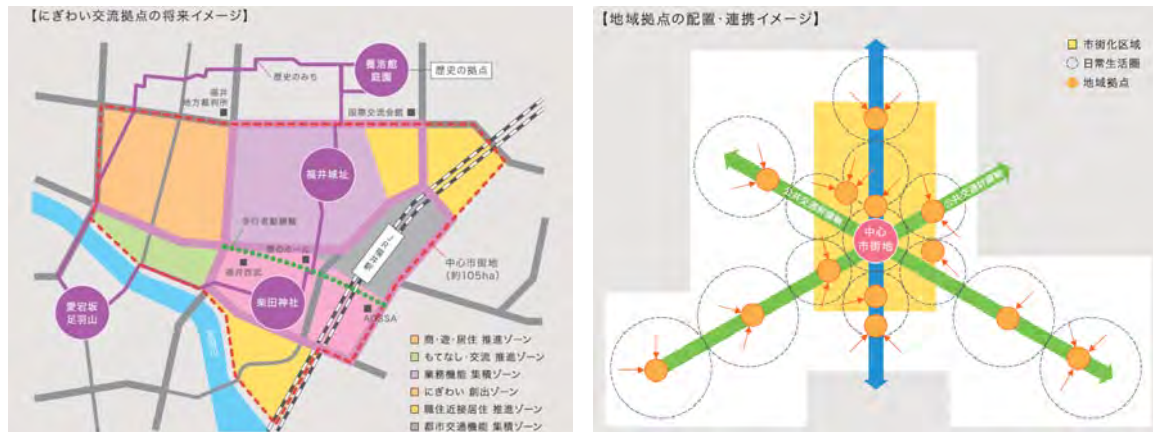
住

みたくなる。

福井市中心市街地から活性化

- ・ 県都福井の玄関口であり交通の結末点である
- ・ 歴史遺産などの既存資産の流用がきく
- ・ 中心市街地弱体化が市民問題意識のトップ事案である

(平成23年度 福井市民意識調査報告書より)



ふくいのみちづくりにおけるICT活用とは

ICT環境の変化

- ・ **スマートフォン**による動画音声配信環境の充実
- ・ **GPS**を使った利用者の位置情報によるサービス提供が可能

地域コミュニティを復活し、賑わいを取り戻すには

- ・ **地域に協働**の考えを広め、自分たちの問題として動ける環境を作る
- ・ **情報人を育成**し、活動する機会を与える

**スマートフォンへの情報発信力を強化
情報を届けたい人に確実に届けられる基盤を用意**

- ・ 情報活用に熱い気持ちをもつクリエイターの障壁を取り払う
- ・ 誰もが自由に街を盛りあげることができる環境を用意する
- ・ 点在するコンテンツの集積、整理をおこない再利用可能な状態にする
- ・ 利用基準を明確にしながら行政情報公開を行う
- ・ 広く公募を行い協働の精神で活性化を目指す

求められる環境

II

メッシュWi-Fiの整備

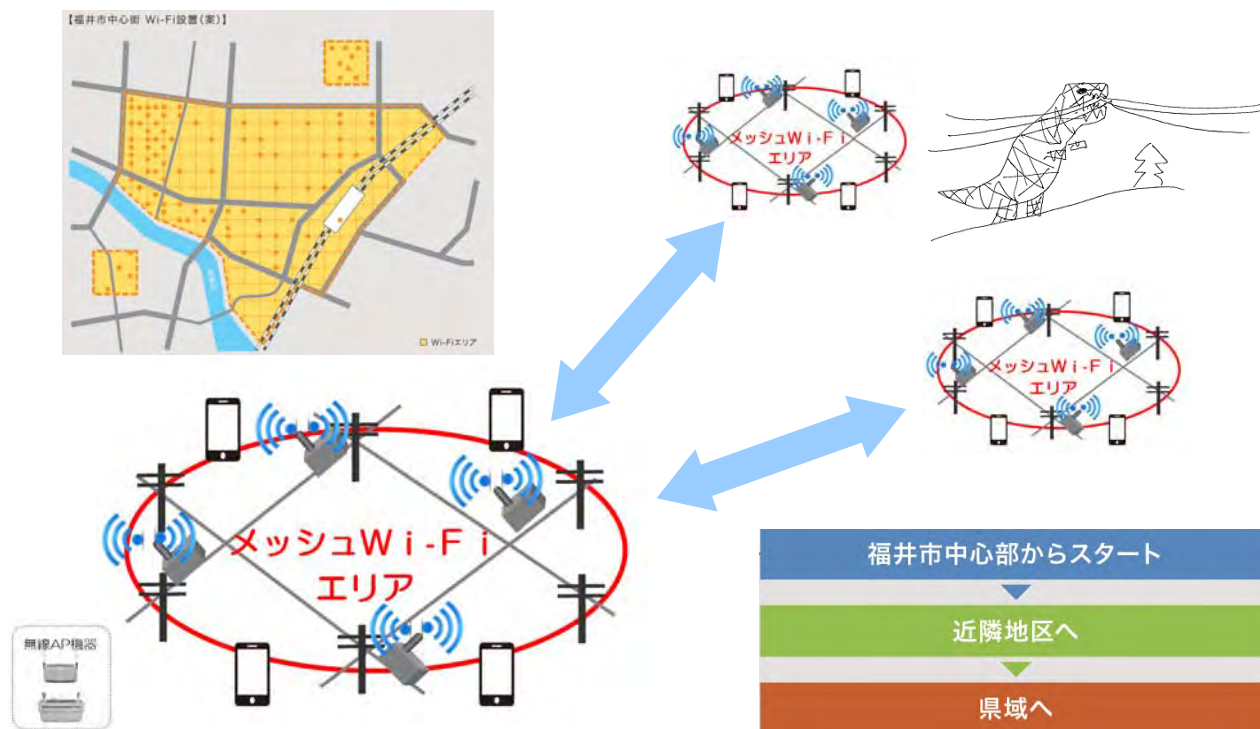
+

メディアHUB構築

県都の玄関口を中心としたメッシュWi-Fi整備



メッシュWi-Fiエリアの広がり



メディアHUB

- 地域に分散している紙、文字データ、映像を**集約**し、再利用可能な状態にする。
- コンテンツの**著作権保護**に配慮し、制御可能な情報（XML形式、メタデータ）として蓄積する。
- 多くの有益なコンテンツをAPI公開し、民間のアプリ開発者に開放して、情報人の支援、育成を行う。**民間アイデアで活性化**を行う。
- 「必要な情報」を「必要なタイミング」で「必要としている人」に配信する。
- メッシュWi-Fi環境を使って、アクセス時の初期画面から、各種**コンテンツへの誘導**を行う。

地域に分散している紙、文字データ、映像を集約

福井地区 ごみの分け方・出し方早見表

※収集日の○印欄にお住まいの地域の収集曜日などを記入ください。

分別		収集日	
一般ごみステーション	燃やせるごみ (休祝祭日は収集しません) 指定袋 緑色	週2回	曜日
	燃やせないごみ (休祝祭日も収集します) 指定袋 青色・緑色	毎月第○回 第○回	曜日
	プラスチック製容器包装 (休祝祭日も収集します) 指定袋 オレンジ色・緑色	週1回	曜日
資源	空きびん 乾電池	月1回	水曜日
	空き缶	毎月第○回 第○回	水曜日

プラスチック製容器包装の分別にご協力を!

瓶・ラベル類

- スーパー、コンビニなどのレジ袋
- インスタントラーメン、お菓子のパンなどの包装フィルム
- ペットボトルのラベル

カップ・トレイ類

- 食器トレイ (赤・緑は可も可)
- 紙パック、豆腐の容器
- カップめん、プリン、ゼリー、弁当などの容器

福井市 ・ 福井ケーブルテレビ Copyright© 2012 Fukui City & Fctv co., Ltd. All Rights Reserved. P. 10

地域に分散している紙、文字データ、映像を集約


(例) 環境放射線情報 (福井県原子力環境監視センター)

モニタリングデータ

現在の状況: 各観測局の空間放射線量率に異常な値は検出されていません。

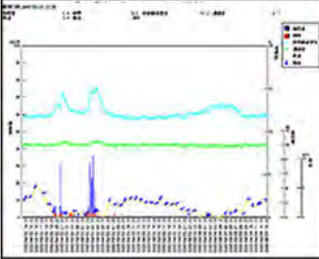
最新データ地図表示

- 敦賀サイト
- もんじゅサイト
- 美浜サイト
- 大飯サイト
- 高浜サイト



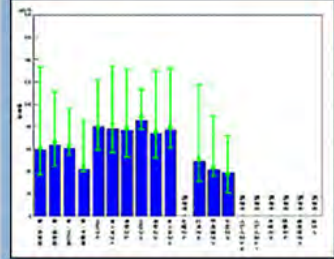
時系列グラフ表示

- 空間放射線量率
- 発電所 電気出力
- 発電所 排気筒モニタ
- 発電所 放水口モニタ



統計・一覧表示

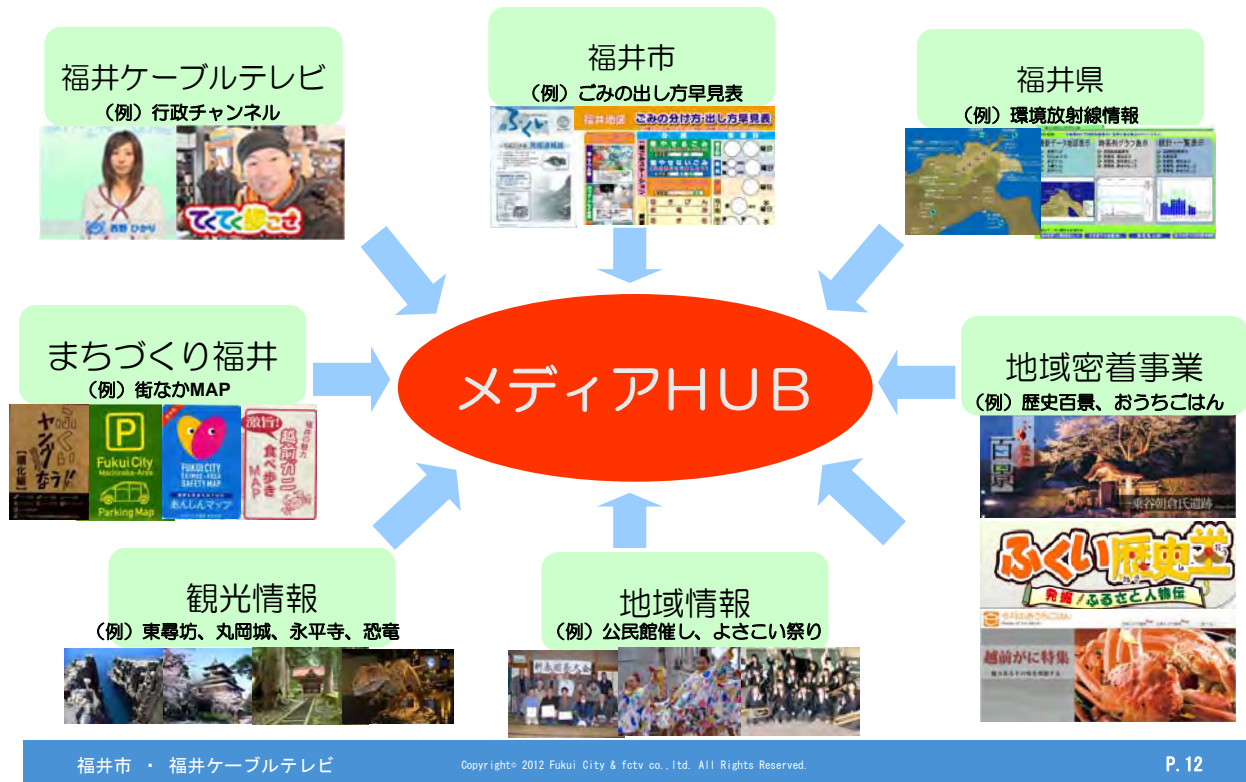
- 空間放射線量率
- 気象状況
- 発電所 電気出力
- 発電所 排気筒モニタ
- 発電所 放水口モニタ



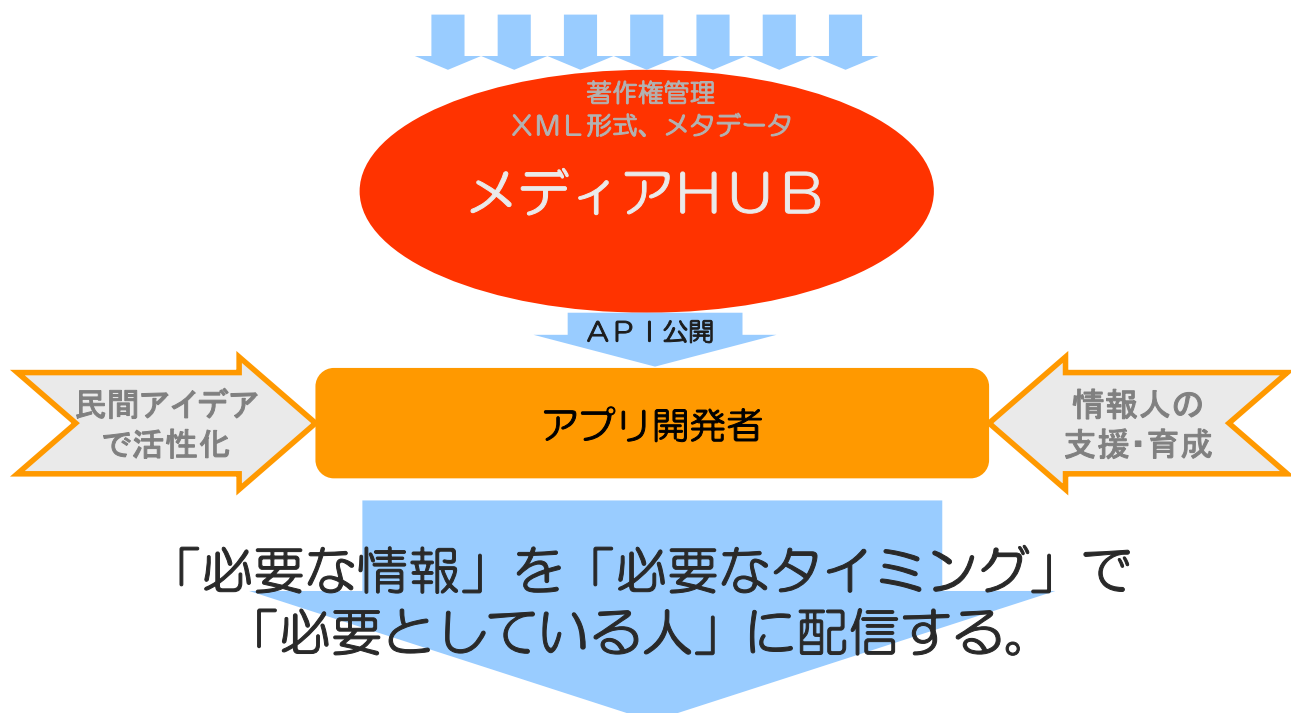
表示データに関するお知らせ

福井県原子力環境監視センター | 日本原子力発電(株) | 関西電力(株) | (独)日本原子力研究開発機構

地域に分散している紙、文字データ、映像を集約



民間のアプリ開発者へ公開、情報人の育成と活性化



コンテンツへの誘導(ビジネスモデル)



ふくい街なか
Wi-Fi

福井まち歩きMAP

※はじめての方は新規登録ボタンから
新規登録

※すでに登録済みの方は、ログインボタンから
ログイン

福井市インフォメーション

各種サイトへ誘導

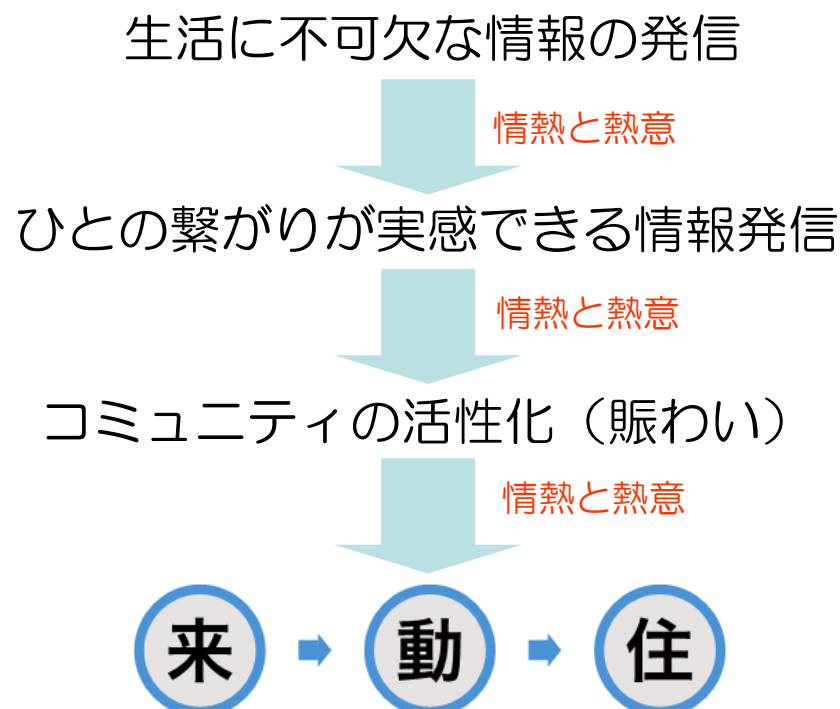
バナー広告

- 片町など繁華街への動線づくり
- 観光客の動線づくり

行政の告知

- 市民と繋がる

・スタートページ
・ポータルサイト

参加型情報発信 *Pachon!!*

発展的な活用企画(例)

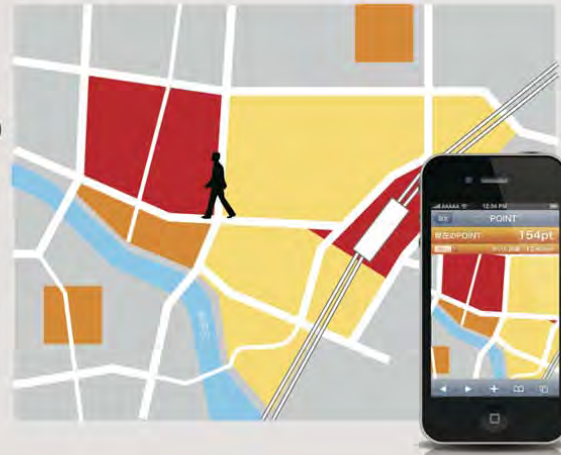
歩くだけで貯まるウォーキングPOINT

1. 歩いた距離に応じてポイントを獲得。
2. ポイントは地元商店街等で利用できる。
3. 「本日ポイント5倍デー」:日ごとに「ポイント5倍・10倍」などのエリアを設定。
4. 市民の健康増進の実現のほか、商業地域への誘導/観光スポットへの誘導/イベントなどに活用。

ポイント提携先例 → 航空会社マイル「福井を歩いて地球の裏側(ブラジル)に行こう!」

10pt / km

- x1
- x5
- x10



地域に眠る「財産」×クリエイティブの力 = 全国・世界への発信力

地域の産品・文化

- 米
- 酒、水
- 肉
- 魚介類
- 野菜
- 果物
- 菓子
- 塩、味噌、醤油
- 木材加工品
- 染物
- 織物
- 刃物
- 陶磁器
- 温泉
- 旅館
- 城
- 海、山、川
- 神社仏閣
- 祭り
- 踊り
- 建築物
- 鉄道
- 美術
- 方言
- 街並み
- 商店街

情熱と熱意

日本全国のクリエイター

- デザイナー
- 建築家
- 写真家
- シェフ
- 陶芸家
- 画家
- 作家
- 大工
- 刃物鍛冶
- 陶芸家
- プログラマ
- マンガ家
- イラストレーター
- パン職人
- 漁師
- 農家
- 映画監督
- 作曲家
- 美容師
- 書家
- 茶道家
- 華道家
- 武道家
- 哲学者
- 編集者
- ダンサー

ICTインフラ

- プラットフォーム化されたICTインフラを介して、全国の「作り手」とのコラボレーションを実現する。
- 作り手同士が横断的に結びつき、コミュニケーションとアイデアを生み出していく。

屋外のメッシュWi-Fiは全国初
モデル事業としてのご支援を！

全国レベルの素材提供を！

メディアHUBのご利用を！

最後に(目指すべき方向性を模索するうえでの一考察)

北陸 ≡ 北欧

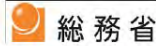
今後目指すべき方向性を提示するにあたり、「北陸と北欧に共通点が多い」という仮説を立ててみました。北陸と北欧。どちらも、冬の寒さは厳しいものの、自然に恵まれ、福祉、医療、教育、子育てなどの各種制度が充実し、人々は豊かな暮らしを送っています。「限られた資源と条件のもとで、知恵を出し合い幸福を実現することに長けている人々が暮らしている場所」と表現してもいいかもしれません。

ICTに関して、北欧諸国は高い指標を示しています。国別のICT普及率では、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドといった北欧勢が上位を独占。Linuxを誕生させたのはフィンランドのヘルシンキ大学の学生であったし、エリクソン(スウェーデン)やノキア(フィンランド)といった北欧の企業は、クリエイターの力を十二分に活用することによって隆盛を誇りました。

一般的には情報社会が実現すると、並行してグローバル化の傾向が強まり、不平等(格差)の拡大が顕著になりますが、北欧では不平等(格差)の拡大が進行していません。「ユニバーサルな福祉」と「ICTによる情報化社会」という組み合わせが幸福な形で実現している社会(=「フィンランドモデル」)であるといえます。

少子高齢化の進行と格差の拡大が懸念される日本社会において、北陸地方は前述のように「ユニバーサルな福祉」という面では比較的望ましい状況を実現している地方であるといえます。ここに「ICTによる情報化社会」を組み合わせることで、より暮らしやすく、より幸福度の高い地域として発展する可能性が広がる。北陸の「北欧化」とは、単なる語呂合わせではなく、実現すべきひとつのモデルとして検討の価値があるキーワードではないかと考えます。

参考資料



MIC Ministry of Internal Affairs and Communications
平成24年3月26日
北陸総合通信局

福井市のメッシュ WiFi 等を活用したまちづくりを支援 ～ 全国のモデルとなる ICT を活用したまちづくりの取組に期待 ～

福井市では中心街の賑わい創出などを目的として、ケーブルテレビの回線を利用した広域的なメッシュ WiFi の整備とその活用を進めることとしており、ハード・ソフトの両面から検討を行うため、「福井市公衆無線 LAN 推進委員会」の第1回会合を下記のとおり開催することとなりました。

総務省北陸総合通信局（局長 齊藤 一雅）では、この取組が福井市と地元ケーブルテレビ事業者である福井ケーブルテレビ株式会社が協働する形で広域的なメッシュ WiFi を整備するとともに、地域の商店街・観光関係者と一体となってまちづくりを進めるなど、ICT を活用したまちづくりの取組として先進性があり、全国のモデルとなることが期待されることから、同委員会にオブザーバーとして参加し、助言等の支援と協力を行っていくこととします。

【補足：メッシュ WiFi】

市街地等にメッシュ（網目）状に多数のアクセスポイントを設置し、広域のサービスエリアをカバーする無線 LAN。

記

- 1 会議名 第1回福井市公衆無線 LAN 推進委員会
- 2 日時 平成24年3月27日（火） 14:00～
- 3 会場 福井市役所本館 8階 第4委員会室

【参考】

福井市公衆無線 LAN 推進委員会委員一覧

【福井市担当】

福井市都市戦略部情報課 課長 林 正憲 様
電話番号 0776-20-5671

連絡先：無線通信部陸上課
（担当：宮藤）

電話：076-233-4480

*「ピピットくん」は北陸総合通信局長のマスコットです。詳しくはこちらのURLをご覧ください。
http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/gaiyou/gaiyou_chara.html

《参考》

福井市公衆無線 LAN 推進委員会委員（五十音順）

安宅 通人	京福バス（株）経営推進室部長
稲葉 隆夫	福井県 情報政策課長
藤木 正行	（財）福井観光コンベンション協会専務理事
加藤 幹夫	福井駅前五商店街連合 活性化協議会会長
高雷 範行	福井市片町商店街振興組合 理事長
滝波 秀樹	福井市都市戦略部長
田崎 健治	福井ケーブルテレビ（株） 代表取締役社長
吹矢 満和	福井市 副市長
堀 俊和	福井大学 教授 大学院工学研究科 情報・メディア工学
峠 伸行	福井商工会議所 企画広報部長
宮川 雅敏	まちづくり福井（株） 代表取締役社長
安野 敬彦	福井市 観光アドバイザー
山川 修	福井県立大学 学術教養センター教授

専攻

オブザーバー

齊藤 一雅 北陸総合通信局長

参考資料

福井市のメッシュ WiFi 等を活用したまちづくりを支援

ー福井市が第1回福井市公衆無線 LAN 推進委員会（2012.3.27）を開催ー

2012年3月27日（火）、福井市役所において、福井市の中心市街地の賑わい創出などを目的とした、中心市街地におけるメッシュ WiFi（公衆無線 LAN）の整備推進等を検討する「第1回福井市公衆無線 LAN 推進委員会」が開催されました。

福井市では、郊外での大型店舗の開業などで中心市街地の地位が低下していることや、2014年度の北陸新幹線の金沢開業を控えて、どのように誘客を進めていくのか等が課題となっています。

このため、福井市では、今回の取組を通じて、中心市街地にケーブルテレビ事業者（福井ケーブルテレビ株式会社）との協働によりメッシュ WiFi を整備するとともに、それをプラットフォームにして、地域に賑わいと元気を創出し、「まちづくり」を推進するため、魅力あるコンテンツやサービスを提供するポータルサイトを構築することをめざしています。

推進委員会では、冒頭の市長挨拶（吹矢清和副市長が代読）の中で、「福井市の中心市街地の賑わいのあるまちづくりをめざして、活性化基本計画を策定し、様々な施策を展開しているが、スマートフォンやタブレット端末の普及が急速に進んでいる中、中心市街地における公衆無線 LAN の整備は差し迫った課題である」と、今後の取組への期待が述べられ、座長に選出された福井大学の堀俊和教授は、「夢のある取組に参加させていただき、大変光栄、様々な関係者の声に耳を傾け、ハード・ソフト両面の課題を議論していきたい」と挨拶されました。

また齊藤局長は、「世代を超えて多くの人がスマートフォンを持ち歩く時代であり、それらを使って商店街に来たお客さんに魅力ある情報やサービスを提供することができれば、まちの賑わいの創出につながる、今回の福井市の取組は情報通信の最新の技術を生かしたまちづくりという点で大変先進的であり、ぜひ全国のモデルになっていただきたい、北陸総合通信局としても、できる限りの応援をしていく」と述べました。

推進委員会では、今後3回の会議の開催を予定しています。

お問い合わせ先：福井市都市戦略部情報課 0776-20-5671

：北陸総合通信局 無線通信部 陸上課 076-233-4480



冒頭、挨拶される福井市の吹矢清和副市長



福井市の取組が全国モデルになることへの期待を述べる齊藤一雅北陸総合通信局長

